

表1 平成30年度 センサーカメラ設置箇所

調査 地点	行政区・ 地点名	前年度 からの 設置状況 ¹⁾	国有林名	林小班名	緯度	経度	標高 (m)	遺産地 域から の距離	設置箇所の林齡・周囲の環境・設置状況等	設置日	撤去日	稼働 日数	設置状況		
													方向	高さ (m)	奥行 (m)
1	八峰町 小入川林道①	変更	八森山	159 へ1	40° 24' 32.61"	139° 58' 57.24"	72	緩衝から 6.5km	54年生の広葉樹林で、小入川と右岸支流との合流点付近に位置する。小入川沿いの林道に向けて設置。	5月7日	11月19日	197	S	1.4	5.0
2	八峰町 小入川林道②	新規	八森山	159 へ1	40° 24' 32.53"	139° 58' 56.83"	70	緩衝から 6.5km	地点1の直近で、林道から川に降りる歩道に向けて設置。撮影方向の川岸に錆びた鉄製の橋の残骸がある。	5月7日	11月19日	197	WNW	1.3	4.5
3	八峰町 小入川わな上①	新規	八森山	159 は1	40° 24' 14.14"	139° 58' 54.53"	76	緩衝から 7km	70年生のスギ林で、林内には作業道が作設されている。2本の作業道の合流地点付近に向けて設置。	5月29日	11月26日	182	SSW	1.1	2.5
4	八峰町 小入川わな上②	変更	八森山	159 は	40° 24' 13.84"	139° 58' 53.22"	69	緩衝から 7km	70年生のスギ林で、一部皆伐されスギが新植されている。地点3まで続く林内の作業道沿いに設置。	4月27日	11月26日	214	WNW	1.3	3.0
5	八峰町 小入川わな下	継続	八森山	159 は	40° 24' 12.44"	139° 58' 51.95"	52	緩衝から 7km	地点4と同一小班で、ニホンジカ捕獲用に設置した小型囲いわなの直近。皆伐・新植箇所で、地点4に至る作業道沿いに設置。	4月27日	11月26日	214	SSE	1.0	2.0
6	八峰町 日蔭沢林道①	新規	平沢	160 た	40° 24' 03.54"	139° 59' 28.04"	156	緩衝から 7km	79年生の広葉樹林で、蔓に被覆された荒廃地や草地に隣接する。岩の崖地に作設された林道の狭窄部に設置。	5月7日	11月12日	190	N	1.2	2.5
7	八峰町 日蔭沢林道②	継続	平沢	161 い1	40° 23' 59.11"	139° 59' 25.54"	117	緩衝から 7km	平沢沿いに植えられた60年生のスギ林で、沢沿いに作設された林道に向けて設置(撮影方向のみ変更)。	5月7日	11月12日	190	NW	1.2	3.5
8	八峰町 上山内沢①	新規	八森山	163 い1	40° 24' 00.37"	140° 01' 08.59"	109	緩衝から 6km	53年生の広葉樹林で、上山内沢の対岸や下流域にはスギ林が広がる。沢の左岸に付けられた歩道脇に設置。	5月14日	11月9日	180	W	1.3	2.5
9	八峰町 上山内沢②	新規	八森山	163 い1	40° 23' 59.65"	140° 01' 11.08"	96	緩衝から 6km	地点8に続く歩道沿いで、作業道終点の広場から歩道に数m入った場所に設置。	5月7日	11月9日	187	NNW	1.2	2.0
10	八峰町 中の又林道①	継続	真瀬沢	169 わ	40° 26' 41.71"	140° 04' 03.22"	284	緩衝から 2.5km	57年生のスギ林で、周囲の小班も大部分が60年生以上のスギ林である。真瀬岳登山口付近の林道脇に設置(撮影方向のみ変更)。	5月23日	11月5日	167	WNW	1.2	2.5
11	八峰町 中の又林道②	継続	真瀬沢	173 い	40° 25' 09.65"	140° 02' 48.40"	121	緩衝から 4km	87年生のスギ林で、三ノ又林道分岐点の広場より約50mの地点の林道脇に設置(撮影方向のみ変更)。	5月23日	11月5日	167	SE	1.3	4.5
12	八峰町 水沢川①	新規	水沢山	174 い1	40° 23' 20.68"	140° 07' 49.96"	321	緩衝から 1.5km	110年生のブナ林で、水沢川右岸に歩道が付けられている。歩道が水沢川支流の小沢を横切る付近に設置。	5月23日	11月9日	171	E ²⁾	1.3	2.5
13	八峰町 水沢川②	新規	水沢山	174 い1	40° 23' 20.33"	140° 07' 43.11"	318	緩衝から 1.5km	地点12と同一小班で、約150m下流側に位置する。水沢川右岸に合流する沢との二又付近の歩道脇に設置。	5月23日	11月9日	171	NW ³⁾	1.2	2.5
14	八峰町 壇川	変更	(民有地)	- -	40° 19' 15.61"	140° 06' 45.33"	89	緩衝から 7km	主伐適期のスギ林が生育し、壇川沿い500m程下流から田畠が広がる。林道上野線沿いのスギ立木に設置。	6月2日	11月5日	157	SE	1.2	3.0
15	能代市 小滝林道	変更	岳	1002 や	40° 19' 13.06"	140° 11' 20.08"	201	緩衝から 5km	119年生の広葉樹林で、林道を挟んだ山側には50年生前後のスギ林が広がる。林道が小沢を横切る付近に設置。	5月16日	11月12日	181	WNW	1.1	5.0
16A	能代市 岳林道	変更	岳	1004 せ	40° 19' 43.25"	140° 11' 34.96"	304	緩衝から 4km	52年生のスギ林で、民有地側も主伐適期のスギ林が広がる。小班内に作設された作業道沿いに設置。	5月16日	9月4日	112	NW	1.3	3.0
16B	能代市 梅内林道③	新規	梅内沢	1049 ほ1	40° 15' 22.19"	140° 12' 33.16"	55	緩衝から 12km	35年生のスギ林で、梅内林道沿い400m程下流から田畠が広がる。林道本線から開設された作業道沿いに設置。	9月4日	11月7日	65	N	0.9	2.5
17	能代市 天神貯木場跡地	変更	- - -	40° 11' 53.77"	140° 15' 27.93"	33	緩衝から 19.5km	貯木場跡の荒廃地で、小沢を挟んだ対岸に221年生の天然秋田杉林が広がる。小沢に続く獣道の脇に設置。	5月16日	11月26日	195	WNW ⁴⁾	1.2	2.0	
18	能代市 梅内林道①	変更	柵山沢	1053 は	40° 16' 10.40"	140° 12' 39.15"	129	緩衝から 10.5km	54年生のスギ林で、周囲もほぼ同林齢のスギ林が広がる。林道沿いに設置。	5月16日	11月7日	176	SE	1.1	3.5
19	藤里町 梅内林道②	変更	薄井沢	1042 ろ	40° 16' 25.13"	140° 13' 19.82"	76	緩衝から 10.5km	47年生のスギ林で、林道沿いの小沢にミズバショウが群生する。2本の小沢の合流点付近に設置。	5月16日	11月7日	176	SE	1.2	4.0
20	藤里町 長場内	継続	(民有地)	- -	40° 19' 10.27"	140° 12' 21.13"	84	緩衝から 5km	粕毛川支流長場内川の右岸に位置し、100m程下流には水田が広がる。スギ林と接する河畔林内に設置(撮影方向のみ変更)。	6月13日	11月12日	153	E	1.3	2.0
21	藤里町 大滝林道①	新規	鹿瀬内沢	1020 そ	40° 24' 37.47"	140° 12' 01.10"	516	緩衝から 1km	62年生のスギ林だが、周囲には200年生近いブナ林が生育する。林道から谷側に付けられた作業道入口付近に設置。	6月13日	11月6日	147	NNW	1.2	2.5
22	藤里町 大滝林道②	新規	鹿瀬内沢	1020 た	40° 24' 46.61"	140° 12' 02.08"	514	緩衝から 1km	192年生のブナ林で、地点22より約300m手前に位置する。林道狭窄部の落石箇所に設置。	6月13日	11月6日	147	W	1.2	2.5
23	藤里町 一の又沢林道	変更	鹿瀬内沢	1023 い	40° 23' 51.24"	140° 13' 29.66"	308	緩衝から 1.5km	62年生のスギ・カラマツ林で、大滝林道との分岐点付近に位置する。林道入口の門扉跡の鉄柱に設置。	6月13日	11月6日	147	SE	1.1	2.0
24	藤里町 一取沢林道①	新規	鹿瀬内沢	1015 イ	40° 22' 02.71"	140° 13' 36.27"	154	緩衝から 2km	素波里ダムの電気貸付敷で、粕毛川沿いに広葉樹の河畔林が生育する。林道から粕毛川に降りる歩道沿いに設置。	6月13日	11月6日	147	N	1.2	2.5
25	藤里町 一取沢林道②	変更	鹿瀬内沢	1025 か	40° 22' 23.70"	140° 14' 30.81"	316	緩衝から 3km	47年生のスギ林で、周辺の小班も主に50年生近いスギ林である。林道脇の作業道入口付近に設置。	6月13日	11月6日	147	NNW	1.2	2.0
26	藤里町 馬頭沢林道	変更	二ノ又	1187 め	40° 16' 26.36"	140° 18' 57.02"	116	緩衝から 14.5km	54年生のスギ林で、林道入口付近には田畠が広がる。入口から約150mの林道脇に設置。	5月16日	11月7日	176	ENE	1.2	3.5
27	藤里町 滝の沢林道①	新規	滝ノ沢	1165 め	40° 19' 05.15"	140° 18' 48.43"	185	緩衝から 11km	37年生の広葉樹林だが、周囲は大部分が主伐・間伐適期のスギ林である。林道本線の脇に設置。	6月14日	11月7日	147	NNW	1.0	3.0
28	藤里町 滝の沢林道②	変更	滝ノ沢	1173 ち3	40° 19' 04.71"	140° 18' 44.80"	179	緩衝から 11km	35年生のスギ林で、滝の沢林道から付けられた車両通行可能な作業道沿いに設置。	6月14日	11月7日	147	SSE	1.2	3.0
29	藤里町 真名沢林道	継続	藤琴沢	1140 か	40° 24' 39.20"	140° 16' 48.22"	412	緩衝から 6.5km	60年生のスギ林で、小班沿いに舗装された車道が伸びる。林道脇の作業道入口付近に設置(撮影方向のみ変更)。	6月14日	11月7日	147	E	1.1	2.5
30	藤里町 田苗代湿原	継続	藤琴沢	1136 イ	40° 25' 17.40"	140° 14' 55.98"	786	緩衝から 4.5km	田苗代湿原の第二湿原から第三湿原に至る途中の林内に、木道に向けて設置(撮影方向のみ変更)。	6月14日	11月7日	147	NW ⁵⁾	1.0	2.5

1) 前年度から新たに追加した箇所を「新規」、引き続き継続した箇所を「継続」、同じ路線内で場所を移動させた箇所を「変更」と表記。 2) 9月3日変更:当初NE・奥行2.0m 3) 9月3日変更:当初NNW・奥行2.0m 4) 7月3日変更:当初N・奥行2.0m 5) 8月22日変更:当初N・奥行2.0m

表2 センサーcameraによる各調査地点の確認種・個体数¹⁾

種名 ²⁾ \ 調査地点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16A	16B	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	合計
ニホンザル <i>Macaca fuscata</i>											5	1		6					9	4		48	39	1		2	3	2	2		122	
キツネ <i>Vulpes vulpes</i>	6		3	14	12	2	13			23	34	1		25	3	1		2	58	21			2			16	27	18		3	284	
タヌキ <i>Nyctereutes procyonoides</i>			4	27	22	22	37	6		32	12	7	8	62	12	16	7	19	64	121		10	4	10		4	61	50	29		9	655
ツキノワグマ <i>Ursus thibetanus</i>	7	1	1	7	2	14	15		5	3	2	5	3	4	6		2	25	7	29	20	17	18	2	2	10	11	8	10	4	10	250
テン <i>Martes melampus</i>	2	1	2	6	3	3	70			2		1	3	6	1	2		1	13	12			1			1	3	29		14	176	
イタチ <i>Mustela itatsi</i>						2				3										1											6	
アナグマ <i>Meles meles</i>	4			5	1	33	52	8		3	9	2						6	23	7			3					12	20			188
ハクビシン <i>Paguma larvata</i>	1	4	8	34	17	2	47	7	1	10	4	26	13	5	1	15		7	31	23		1	2	1		33	25	24			342	
イエネコ <i>Felis catus</i>	1			5	4	2	72																									84
ニホンジカ <i>Cervus nippon</i>	1	1				1			1										1		1	1									8	
カモシカ <i>Capricornis crispus</i>	5	2	15	18	7	27	3	8	14		4		1	1	48	33	1	5		26	2	39	33	2	2	6	6	10	16	5		339
ニホンリス <i>Sciurus lis</i>			6	1					1	6								14	1		1						1					31
ニホンノウサギ ³⁾ <i>Lepus brachyurus</i>			7	7		2	1		3	1	4	1		4	18		9	2	10		11	24	41			12		7		5	169	
不明ネズミ類					6			4		4																	2			1	17	
不明哺乳類	2		2	10	6	8	20	2	1	9	4	5	2	3	2	2		7	15	7	5	2	8	10	2	2	12	2	7	2	2	161
哺乳類個体数合計	29	9	48	134	82	116	330	35	23	98	70	56	32	106	83	87	10	95	224	261	29	128	129	73	7	24	156	141	162	11	44	2832
哺乳類補正個体数 ³⁾ 合計	1.48	0.46	2.65	6.29	3.85	6.14	17.46	1.96	1.24	5.90	4.22	3.29	1.88	6.79	4.61	7.84	1.56	4.90	12.80	14.91	1.91	8.77	8.84	5.00	0.48	1.64	8.91	9.66	11.10	0.75	3.01	5.54
哺乳類種類合計 ⁴⁾	8	5	8	10	9	10	9	4	5	9	7	8	7	6	8	6	3	9	10	10	4	6	8	8	3	4	9	8	9	2	5	13
ヤマトリ <i>Syrmaticus soemmerringii</i>							1	6									1		2						2		8	3	3			26
キジバト <i>Streptopelia orientalis</i>			21	1	9		4			29			3		3	1		22	1						1	23	2		1	121		
アオサギ <i>Ardea cinerea</i>		1																													1	
オオアカゲラ <i>Dendrocopos leucotos</i>																	1														1	
カケス <i>Garrulus glandarius</i>			3			1		1																		5				10		
ハシボソガラス <i>Corvus corone</i>					3																										3	
トラツクミ <i>Zoothera dauma</i>																											2				2	
ホオジロ <i>Emberiza cioides</i>						1																									1	
不明鳥類	1	1							4																							6
全個体数合計	30	11	72	135	95	117	335	42	23	131	70	56	32	109	83	90	12	96	248	262	29	128	129	73	7	26	157	179	167	14	45	3003
全種数合計 ⁴⁾	8	6	10	11	12	11	11	6	5	10	7	8	7	7	8	7	5	10	12	11	4	6	8	8	3	5	10	12	11	3	6	21

1) 連写の場合は、一連の撮影で写った最大個体数

2) 哺乳類と鳥類の種名・配列は、日本の哺乳類[改訂2版](2008)及び日本鳥類目録 改訂第7版(2012)に従った

3) 延べ撮影頭数/CN×10, 詳細は本文参照

4) 不明種は種数に含めていない